



# [池高TIMES Vol.5]

令和7年2月14日発行

～池高 THREE ARROWS 「認める力」「律する力」「やり抜く力」～

## 「第25回掛川ひかりのオブジェ展」大賞を受賞しました。



選択美術2, 3年生が制作した「未来への灯(ともしび)～御前崎灯台150周年～」が大賞を受賞しました。

「掛川ひかりのオブジェ展」は掛川駅北口からの駅前通りに12月から1月にかけて、出展されたひかりのオブジェを観覧者に評価していただくものです。昨年度作品である「the ocean in omaezaki」も大賞を受賞しており、2年連続グランプリの栄冠を手にすることができました。

表彰式では、3年生の立松七海さんが掛川市長から表彰され、受賞スピーチをしました。「御前崎の灯台

に敬意を評し、3年生は灯台とその周りの家々を、2年生は打ち寄せる波と漂う船を陶芸作品として作りました。建物や船の窓から漏れ出る光は、この作品に住まう人々の営みに思いを寄せています。」というものでした。

来年度、3年連続グランプリを目指して新たな挑戦をしていきます。



## ○進路合格体験記

### 原口 美佑（浜岡中） 常葉大学教育学部学校教育課程

私は、高校2年生の夏に志望大学を決め、そこから進路実現に向け本格的に対策を始めました。

夏休み期間中には、毎日学校に通い、チューターの先生に指導をしていただきました。面接対策では、いろいろな先生方に練習をお願いし、面接ノートを作って先生方からのアドバイスをノートいっぱい書き込み、繰り返し練習に励みました。私自身、高校3年間を通して成績優良者を目指すとともに、資格取得、ボランティア活動などに積極的に取り組み、自身の「強み」を磨いてきました。しかしそこにはいつも池高の先生方の支えがあったことを実感し、本当に感謝しています。皆さんにもぜひ池新田高校で一生懸命になれることを見つけ、自身の「強み」を磨いていけるような学校生活を送ってほしいと思います。応援しています。



### 赤堀 大智（岳陽中） 中部電力パワーグリッド株式会社

私は、中部電力パワーグリッド株式会社に内定をいただきました。他の企業より内定者が少なかったため、先生から合格するには難しい企業であるという話を聞きました。なので、夏休みから進路指導員の方をお願いをして面接に力を入れていきました。姿勢、言葉遣い、表情など丁寧な指導をしてくれました。

先生方も親身になってサポートをしてくださいました。何度も練習を繰り返したので、本番の面接では緊張せず、落ち着いて答えることができました。

また、私は、3年間野球部に所属し、チームの目標に対して日々努力を続けました。部活動や学校生活で身につけた継続力や先生方のサポートのおかげで第一希望の企業から内定をいただくことができました。池新田高校は進路に対するサポートが充実しています。その環境を活かして自分の進路を実現するために頑張ってください。

